

第3回百済文化 国際シンポジウム

at Tokyo Gakugei University

— 日韓交流の新ミレニアム時代に向かって —

【主催】東京学芸大学百済文化国際シンポジウム実行委員会

- 委員長 …… 鷲山 恭彦〔前東京学芸大学長・奈良教育大学理事〕
- 副委員長 … 田中 喜美〔東京学芸大学理事・副学長〕
- 実行委員 … 二宮 修治〔東京学芸大学広域自然科学講座教授〕
李 修京〔東京学芸大学外国語・外国文化研究講座准教授〕

【共催】東京学芸大学、奈良教育大学

【後援】観光庁、日本政府観光局、駐日大韓民国大使館文化院、
共同通信社、毎日新聞社、読売新聞社（申請中）

【協賛】加茂グループ花鳥園、(株)ロッテ資産開発

●日時

2010年7月2日〔金〕
10:00 — 16:30

●会場

東京学芸大学芸術館
〔学芸の森ホール〕

日韓の年間往来者数 500 万人という大交流時代を迎え、我々は急変する国際社会における隣人としての絆を紡いでいます。その交流の足跡をたどれば、今から 1600 年以前の倭の国と百済との文化的交流に繋がります。

本年、韓国では、百済文化を記念する世界大百済典や王仁博士祭など、百済関連の各種行事や様々な百済文化祭が開催される予定であり、また、日本では、奈良県において平城京遷都 1300 年祭が開催されるのをはじめ、各地で関連する行事が予定されています。古よりの相互の交流の歴史を確認し、新たな未来志向への交流の時代が始まっています。

一方、教員養成を担う東京学芸大学では、ますますグローバル化が進展する今日、地球市民の教育を念頭に入れながら、国際交流の絆を深め発展させたいと考えているところです。

こうした状況を踏まえ、来る 7 月 2 日、日本と韓国との交流と出会いの歴史や諸課題等について、未来を見据えた国際シンポジウム

を開催します。

これまで百済文化国際シンポジウムは、2008 年に第 1 回が韓国の公州大学校で、第 2 回が 2009 年に奈良教育大学で行われました。そして、第 3 回目の 2010 年シンポジウムは、7 月に東京学芸大学で、12 月に奈良教育大学で行います。

清新な白鳳・飛鳥という古代文化を咲かせ、発展させてきた日本にとって、異文化との出会いと多文化交流への可能性を拓いた百済文化を再確認することは、今後の日韓の未来作りを共に考える重要な機会になると考えています。

本シンポジウムが、日韓両国の今後ますますの発展と友好親善のための一助となれば幸いです。多くの皆様の御参加を心からお待ちしております。

【お問い合わせ先】東京学芸大学 李 修京（イ スウギョン）研究室

〔電話 & Fax〕(Japan Code 81)+42-329-7266 〔e-mail〕skdragon@u-gakugei.ac.jp skkyoto@hotmail.com



第3回百済文化 国際シンポジウム

at Tokyo Gakugei University

―日韓交流の新ミレニアム時代に向かって―



【主催】東京学芸大学百済文化国際シンポジウム実行委員会

- 委員長 …… 鷺山 恭彦〔前東京学芸大学長・奈良教育大学理事〕
- 副委員長 … 田中 喜美〔東京学芸大学理事・副学長〕
- 実行委員 … 二宮 修治〔東京学芸大学広域自然科学講座教授〕
李 修京〔東京学芸大学外国語・外国文化研究講座准教授〕

【共催】東京学芸大学、奈良教育大学

【後援】観光庁、日本政府観光局、駐日大韓民国大使館文化院、
共同通信社、毎日新聞社、読売新聞社（申請中）

【協賛】加茂グループ花鳥園、(株)ロッテ資産開発



【プログラム】

■午前の部（10:00～12:00） ●司会：李 修京

1. 開会の辞 東京学芸大学百済文化国際シンポジウム実行委員会
委員長〔前東京学芸大学長・奈良教育大学理事〕 鷺山 恭彦
2. 歓迎挨拶 東京学芸大学長 村松 泰子
3. 来賓挨拶 衆議院議員 池坊 保子
駐日大韓民国大使館公使参事官 趙 世映
観光庁次長 武藤 浩
電通グループ 最高顧問 成田 豊
毎日新聞社代表取締役社長 朝比奈 豊
4. 講演 「古代から未来を紡ぐ」奈良県立万葉文化館館長 中西 進

■昼食（12:00～13:00）於：第4会議室（20周年飯島記念同窓会館2F）

■午後の部（13:00～16:30） ●司会：李 修京

1. 報告 ①「日本古代史における百済の位置」
木村 茂光〔東京学芸大学教授〕
②「王仁博士と百済文化取材を通して」
白 在薫〔韓国 MBC-TV 光州局 PD〕
③「扶余に百済歴史文化パーク調整を終えて」
金 昌権〔(株)ロッテ資産開発 CEO〕
④「世界大百済典と国際交流」
洪 萬杓〔忠清南道庁東アジアチーム長〕
⑤「日韓歴史共通教材作りの経験から」
及川 英二郎〔東京学芸大学准教授〕
2. 講演 「古代から近現代、そして未来へ」
宮地 正人〔東京大学名誉教授、前国立歴史民俗博物館館長〕
3. 音楽公演 「音楽で結ぶ日韓交流」～日韓の名曲を訪ねて～
東京学芸大学教授 筒石賢昭（尺八）
箏演奏家 山口明子、東京学芸大学国際アンサンブル
4. 閉会の辞 奈良教育大学長 長友 恒人

【お問い合わせ先】東京学芸大学 李 修京（イ スウギョン）研究室

〔電話＆Fax〕（Japan Code 81）+42-329-7266 〔e-mail〕skdragon@u-gakugei.ac.jp skkyoto@hotmail.com

